

中小企業景気動向調査結果

(2021年1月～3月期)

上毛町商工会

このレポートは、福岡ひびき信用金庫が四半期ごとに発表する「ひびしん中小企業景気動向調査結果」を上毛町商工会が簡易に取りまとめたものです。

製造業 卸売業 小売業 サービス業 建設業 不動産業 合計 回答率%

調査対象企業数	61	33	55	36	48	31	264	100.0
回答企業	61	33	55	36	48	31	264	

景況天気図

・前期：2020年10～12月期 ・今期：2021年1～3月期 ・見通し：2021年4～6月期

良い ← → 悪い

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
前期							
今期							
見通し							

(この天気図は調査結果から総合的に判断して作成しました)

業種別業況(今期と前期の比較)

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
業況							
売上額							
収益							
雇用							

良くなっている

悪くなっている

総合： 今期業況は、製造、建設、不動産業に牽引され、全体では前期比+6.9ポイントとやや改善。売上等の価格動向は、前回調査期間にコロナ禍の一時的沈静化と年末の季節要因反動からか、売上額は前期比△9.1ポイント、収益は前期比△7.2ポイントと悪化した。

製造業： 業況は前期比+20.3ポイントとなり、前年同月に近い水準に改善。売上額前期比△1.4ポイント、収益同△1.3ポイントと小幅低下。

卸売業： 業況は前期比△10.1ポイントと低下。売上額前期比△30.2ポイント、収益前期比△33.2ポイントと、依然厳しい業況。

小売業： 業況は前期比△3.6ポイントとほぼ横ばい。年末の季節要因反動からか、売上額前期比△10.9ポイント、収益前期比△5.5ポイント、と低下。

サービス業： 業況は前期比横ばいながら非常に低調に推移。売上額、収益面、ともに低下。厳しい見通しは続く。

建設業： 業況は前期比+8.3ポイントと改善。売上額前期比+10.4ポイント、収益面前期比+4.2と改善。雇用面では、依然不足が続く。

不動産業： 業況は前期比+25.8ポイントと改善。売上額前期比+16.1ポイント、収益面前期比+25.8ポイントとなった。

出対応 (4.1%)

(問い2) ・当初から予定はなく、設備投資はしない (71.3%) ・当初予定通り実施 (10.5%) ・計画を後ろ倒しして実施 (8.2%) ・予定はあったが、中止・凍結した (5.0%) ・当初予定はなかったが補助金等の活用により実施 (4.7%)

Q 5 : 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。最大3つまでお答え下さい。

回答 : ・本業の国内取引先深耕〔生産・販売・調達等〕 (40.4%) ・特にない (35.1%)
・本業での新商品・サービスの展開 (24.4%) ・新規事業への参入〔多角化〕 (8.6%)
・M&Aの活用 (5.8%) ・副業〔既存の別事業〕の拡大 (3.9%) ・本業の縮小 (2.7%)
・本業の海外展開〔生産・販売・調達等〕 (2.1%) ・業種転換 (1.3%) ・副業〔既存の別事業〕の縮小 (0.6%)」

(「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」より、抜粋しました。)